



1学期を折り返します

5月が終わりを迎えようとしています。思えば今年の今ごろは、全国的な学校臨時休業中で、再延長終了の期限を間近にして、ようやく学校再開が見えてきた時期でした。学年別に分散登校をし、午前中授業のあと午後からはオンラインミーティングで学年ごとに学習の振り返りをしてきた時期でした。今年度は一斉休業となることはなく学校生活を過ごせてはいますが、若年層の感染者が増加傾向にあるなど、子どもを取り巻く環境は全くよくなっていません。

そんななかでも感染リスクの高い活動を避けながら、これまで教育活動を進めてきたところで、教室でマスクを外すのは給食の時間と休み時間にお茶を飲むときくらいしかありません。教室で鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏することもできず、屋外や体育館等の広い部屋で距離を保つことができる場合に限っています。夏季のプール使用も断念せざるを得ないと判断し、先日案内させていただいたところです。校外学習も可能な活動に限り、不特定多数の人が訪れる場所は避け、公共交通機関を利用せずに、バス乗車も密を防げる台数の確保を条件に実施します。フローティングスクールが1日航海となったことは前号でもお知らせしましたが、他校児童との交流を最小限にとどめ、普段から教室でともに過ごすメンバーとの活動がほとんどです。

どうやら1学期後半もこの状況は続きそうです。ガマンの多い学校生活を強いられますが、何よりも命を優先し、感染拡大を防ぐことを第一に考えていきます。ご理解ご協力を引き続きお願いいたします。

たてわり活動を開始しました

前号では「6年生の成長 リーダーとしての存在の自覚」について触れました。すでに登下校等の場面で立派な姿を見せてくれているところですが、さらなるリーダー性を発揮できる場、「たてわり活動」が始まりました。5月13日(木)の昼休み、たてわり班(全24班)それぞれに顔合わせの集会「はじめましての会」を開催し、1~6年生のメンバーが集いました。事前から6年生が考えた遊び・ゲームを通して名前を知り、顔を知り、これから始まるたてわり活動への意欲を高めました。

はじめましての会の後は、それぞれの掃除担当場所に分かれて今年度初めての「たてわり掃除」にとりかかりました。このたてわり掃除は、新旭北小学校の伝統であり、この活動を通して異学年の結びつき、連帯感を深めています。高学年は低学年の子を優しく導き、活動に慣れさせようとしています。低学年は、そんな高学年に感謝の思いを持ちつつ活動し、自分たちも数年後にはこんな姿になろうとあこがれを持つなど、キャリア教育の一環にもなっています。保護者の方のなかでも、小学生時代のたてわり掃除のことを懐かしく語られる方も珍しくありません。これからも新旭北小の良き伝統としてこの活動を続けていきたいと思っています。



梅雨の季節 心はしめらずに

今年のゴールデンウィークは、近隣府県が緊急事態宣言下にあたり、滋賀県でも湖岸の駐車場を封鎖したりするなど、外出できる状況ではありませんでした。おまけに「五月晴れ」といえるような天候の日が少ない状況でもありました。そんな年を象徴するかのように各地で記録的な早さの梅雨入りとなっています。九州南部が11日に史上2番目の早さで梅雨入りをしたとのことでしたが、近畿地方も16日に史上最も早い梅雨の季節に突入してしまいました。感染症対策でストレスが増大しているうえにお天気までが…という気持ちになってしまいそうです。

そんなストレスの影響もあるのでしょうか、校内では廊下をかなりのスピードで走り抜ける子の姿が例年になく多く、安全な学校を維持するために日々粘り強く指導を続けているところです。空模様と同様に心も沈んでしまいそうですが、楽しみを見つけ、何気ないものを楽しみに変え、笑顔を作ってこの時期を乗り切りたいものです。



(密を避けて) 学校へおこしてください(学校支援の輪を)

先日、PTA総会を開催せずに紙面による議決という形で承認をいただき、今年度のPTA活動がスタートしました。その総会の開催の是非を協議したのは、4月中旬の本部委員会でした。「この状況で保護者全体が参集することは避けるべきだ」というのが一致した意見でしたが、「学習参観は実施したい」というのも一致した意見でした。そのため、午前と午後地区割をすることによって密集する時間を減らして参観をしていただいたところです。

そのPTA本部委員会の協議のなかで、PTA役員さんのこんなやりとりがありました。

Aさん：「参観日しか我が子の学校での姿をみることができない。だから…」

Bさん：「参観日じゃなくても いつでも学校に行ってもかまへんで。」

どうやら保護者のみなさんはAさんタイプが多いようで、「学校の敷居が高くなってんだな」と感じさせられる時間でした。Bさんのおっしゃるように、常日頃から学校へ来ていただくことは差し支えありません。現に「北小希望の会」(ボランティア組織)の方で、毎日のように学校へ来ていただき、学校活動を支援してくださっている方がいます。(もと保護者の方ですが)子どもたちも、学校にいてくださるのが当たり前という認識を持っています。感染症が心配な時期ですから大勢の方が学校内で密集する場面は避けたいところですが、「我が子を見る」というよりも「学校を支援する」という気持ちでお越しくださいれば助かります。今号でも触れておりますが、昼休みに廊下を走ってしまう児童を注意するのも職員だけでなく地域の方が加わってくださるとその効果は大きくなります。どうか「地域で子どもを育てる」という視点からも子どもたちの活動にご支援・ご指導をお願いいたします。

さて、「北小希望の会」ですが、4月にも案内をさせていただき、すでに多くの方が登録してくださっています。この機会にご登録していただき、教育活動を助けてくださる輪が広がることを願っています。下の行事予定にも6/7(月)に「希望の会の日」とありますが、毎月1回、メンバーの方々が集まって学校支援活動をしてくださる日を設定しています。すべての方が来られるわけではありません。ボランティアは「できる人が、できる時に、できることを」が大原則です。お気軽に、可能な方はご協力ください。

6月 学校行事予定

1日 (火)	4年やまのご学習 いじめアンケート・学級カウンセリング開始	9日 (水)	委員会活動
3日 (木)	1,4年内科健診	11日 (金)	3年市内めぐり
4日 (金)	研究会のため5校時日課	16日 (水)	クラブ活動 学校運営協議会
7日 (月)	学年費等口座振替 家庭学習がんばり週間(~13日) 北小希望の会の日	18日 (金)	食育の日 2.5年交通安全教室
8日 (火)	5,6年内科健診	20日 (日)	家読の日
		30日 (水)	委員会活動

※ 感染症の影響により休止または延期となることがあります。